

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局 郵便番号166 東京都杉並区和田1-13-19-606

ボストン総領事館開館の思い出

代表幹事 井口武夫

私は40年間勤めた外務省を昨年退官し、東海大学で国際法を教えておりますが任地で一番思い出に残っているのがボストンです。ここは米国の教育の中心地として名声が高く、日本を研究する優秀な学者・専門家も多く、各地の大学巡りを致しました。

ニューイングランドの落ち着いた環境と建国の理想に生きる米国人のコミュニティーに触れ、現地学会・経済界の方々と親交を温めたことは幸せでありました。

マサチューセッツ州がハイ・テクノロジーを重視し、日本の投資を歓迎したことも新総領事館の仕事に張りを与え、日本電気(株)の高木さん等と各地で共同の講演旅行をしたのも懐かしい思い出です。

開館当時は人手不足に苦しみましたが、その折りに暖かい協力の手を差し伸べてくれたのが、ボストン日本人会であり、会長・副会長をされた増淵・堀内・久野さん他多数の皆様にお世話になりました。

また、米国側のジャパン・ソサエティーのオルデン会長以下役員の方々にも何かにつけて助言や支援を戴き、有り難く存じております。

3年がかりで日本人学校も充実させ、日本から教員の方々も来て戴き、現地のお役に立ったかなと思ってボストンを去ったのが、10年前になります。

今回、吉野先生の後を受けて日本ボストン会の代表幹事をお引受することになったのも、この時のご縁があったと考え、草の根交流のお手伝いをさせて戴きます。宜しくご支援の程お願い申し上げます。

不在の代表幹事の終わりに

吉野耕一

3年前にボストン日本人会会長に就任したさい、たまたま当時副会長だった藤盛氏が帰国される事になりました。その時日本でボストンから帰国された方々の会を作る事を藤盛氏にお願いしました。

2年後に東京工業大学で発会式が開かれました。短期間にここまで出来たのは藤盛氏を始めとして、神部、俣野、土居、米田、和田、柳沢、酒井、当間、近藤諸氏およびご夫人方のご努力によります。

発会の時に代表幹事を依頼され、日本在住の幹事の選出までの条件で引受け、不在のまま今日まで続いてきました。

2年の間に日本ボストン会の組織も確立して、その活躍も本家のボストン会以上になっています。ボストンから帰国された皆様が、ボストンを思い出しながら楽しめる会になった事を喜んでおります。

今年の正月に日本人会会長の任期も終わり、石川先生が会長になりました。代表幹事を退く時が来て、幸いにも初代ボストン総領事で現在東海大学教授の井口先生に引き継ぐ事になりました。藤盛・高木副代表幹事の協力で、今後の日本ボストン会のより以上の発展を祈っております。

ボストンではジャパン・ソサエティーが90周年、日本人会が30年、日本語学校が20年と夫々の年輪を数えています。日本ボストン会も年輪を増やし続けて下さい。不在のまま何も出来なかった代表幹事でしたが、帰国の折りには引き続き参加させて下さるようお願いしておきます。

小沢征爾／ボストン交響楽団

ベルリオーズ・フェスティバル

日時	平成6年(1994)12月6日・7日・8日・10日	午後7時開演
場所	サントリーホール	
入場料	¥23,000、¥19,000、¥16,000、¥12,000、¥8,000	
主催	梶本音楽事務所	協賛 NEC 後援 アメリカ大使館
申込先	梶本音楽事務所 (03) 3289-9999	